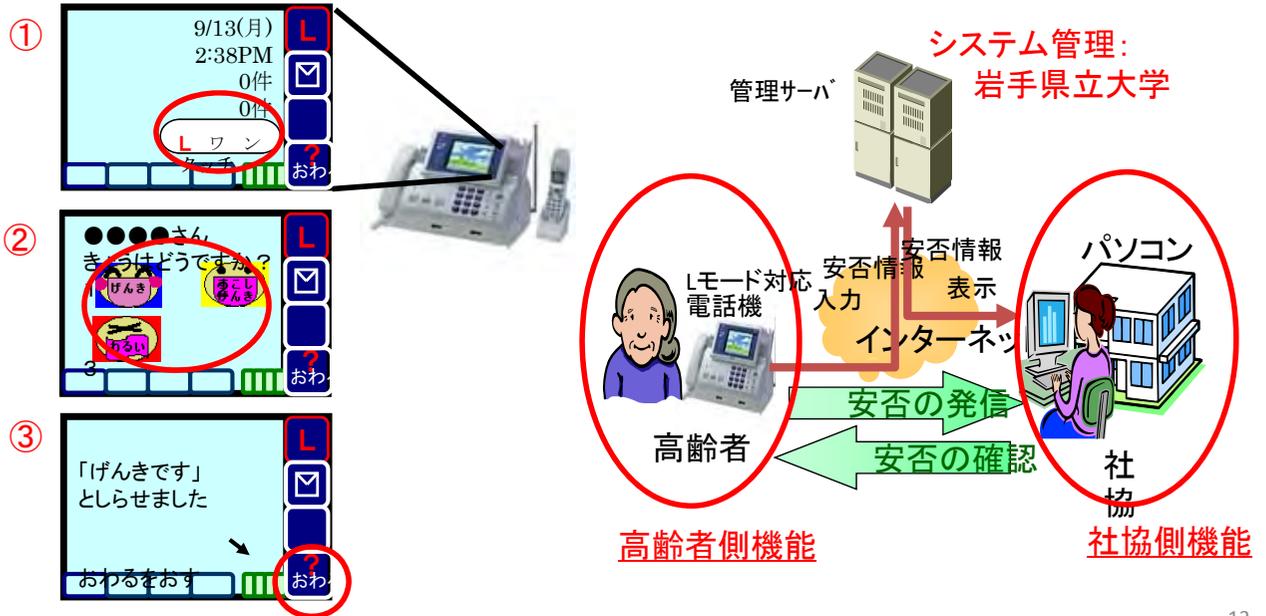


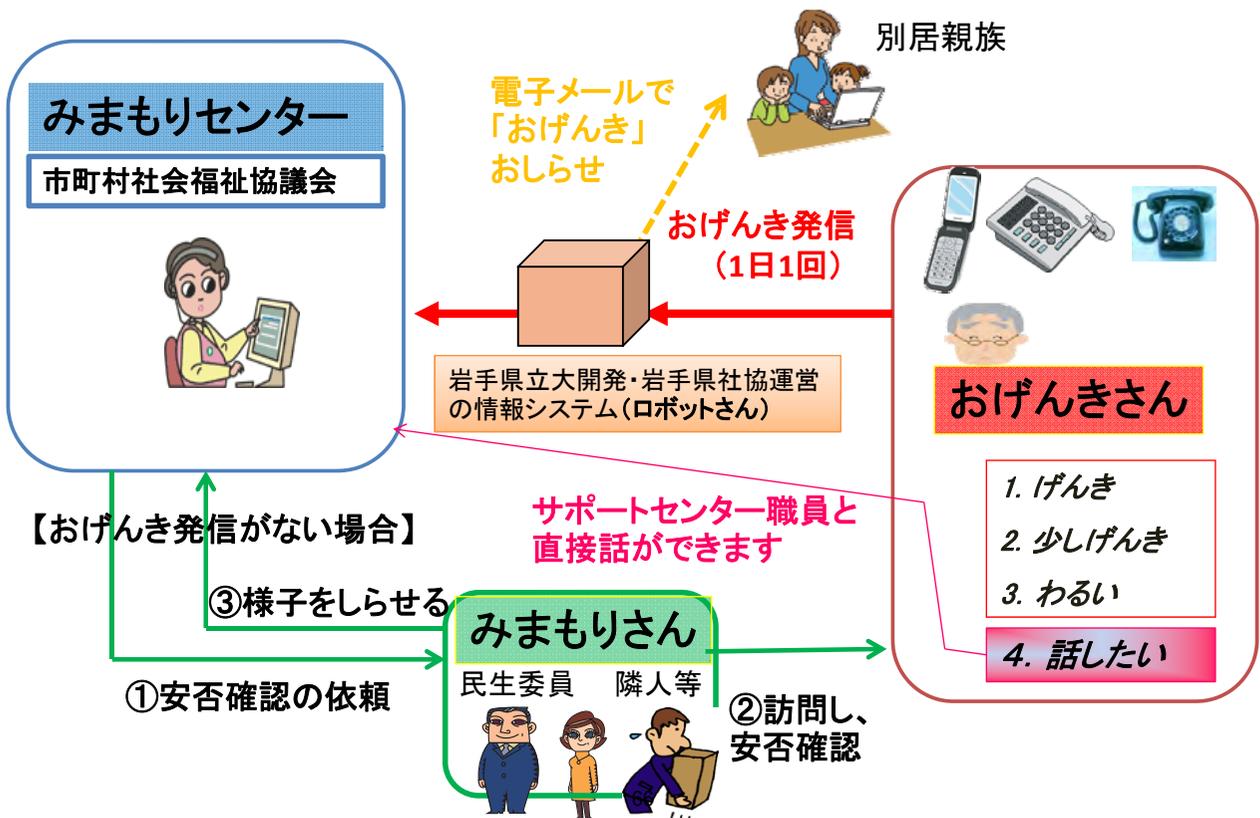
第1次「おげんき発信」

- H15.12～H21.03 岩手県川井村 独居高齢者170名のうち40名使用
- 「**見張り(監視)**」にならないように→高齢者が“おげんき”発信することで、過剰なみまもりを不要とし、高齢者自身の遠慮感を払拭する



13

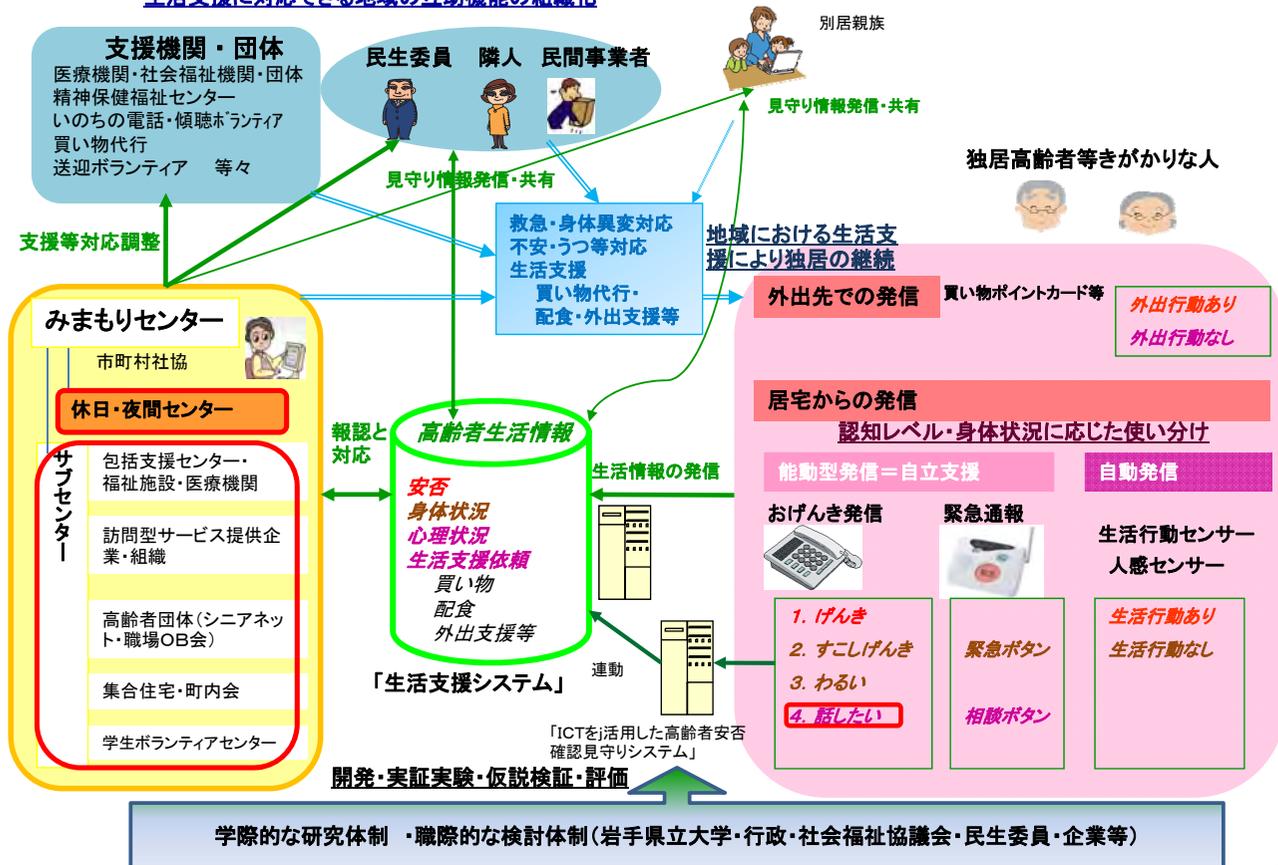
第2次「おげんき発信」 いわて“おげんき”みまもりシステム



14

第3次 科学技術振興機構社会技術開発センター「コミュニティで創る新しい高齢社会の「デザイン」領域「ICTを活用した生活支援型コミュニティづくり」実証実験の概要

生活支援に対応できる地域の互助機能の組織化



②身体レベル・認知レベルに応じた安否確認(異変把握)システムの使い分け

おげんき発信・緊急通報一体型の開発と運用
滝沢地区【郊外スプロール型】



(効果)

- ・知的障害・認知症でもワンプッシュでおげんき発信
- ・毎日の確実な安否確認が可能になる
- ・独居の限界が伸びる
- ・4者の情報共有・連携

↓
異変把握の確実性・信頼性・効率性向上

おげんき発信(ワンプッシュ型)
滝沢村社協・川前地区県立
大みまもりセンター

情報共有
連携

「緊急通報システム」
滝沢村
受託: アイネット(株)